

# 平安後期における物語文学の絵画化について

## 一 「梵字経刷白描伊勢物語絵巻」祖本の想定復元研究一

東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻保存修復研究領域（日本画）

学籍番号 1319934

鈴木七実

### 要旨

『伊勢物語』は10世紀初頭から11世紀初頭にかけて段階を経て形成された物語文学（歌物語）である。成立以来『源氏物語』と並ぶ、日本を代表する古典文学作品として親しまれてきた。

『伊勢物語』および伊勢物語絵の初出文献は11世紀初頭の『源氏物語』で、絵合帖と絵角帖に絵巻物として登場する。『伊勢物語』の形成過程とその絵画化は不即不離の関係にあり、本文成立後早くに絵画化も行われていたと考えられるが、平安時代に作られた物語絵の大半は既に失われているため、伊勢物語絵も鎌倉時代以前の作品は全く残っていない。

では仮に、平安当時の伊勢物語絵が残っていたとしたならば、それはいったいどのような姿をしていたと考えられるだろうか。作り物語や歌物語といった主に王朝貴族文化を題材とする物語文学を絵画化した作品には、「作り絵」「引目鉤鼻」「吹抜け屋台」など、決まった表現手法が用いられることが知られている。また、基本的に小型の作品で、一紙に一場面が描かれること、動きが少ないことなど、画面形式の点で共通した特徴があることも指摘されている。さらに、近年では科学調査や高精細画像の撮影といった手法が取り入れられたことで、特に技法材料に関して新しい情報が得られる場面も増えてきている。現存する平安時代の物語絵は確かに少ないが、中世の関連作品まで合わせて検討する研究が進み、その輪郭は徐々に明瞭になってきている。こうして今までに明らかにされてきた物語絵の特徴・特質は、当然、平安時代の伊勢物語絵にも当てはまるはずである。

ここで、鎌倉時代（13世紀）制作の「梵字経刷白描伊勢物語絵巻」（白描本）に注目したい。「白描本」は墨線のみで描かれた白描絵で、現存最古の伊勢物語絵である。先行研究では平安時代の作品（祖本）の転写本であることが指摘されている。池田忍氏によれば、構図や視点、人物の大きさ、配置といった点に12世紀の作品と近い特徴があり、さらに依拠した祖本は彩色本であった可能性もあるという。また、詞書については片桐洋一氏や伊藤敏子氏らによって研究が進められ、定家本以前、つまり鎌倉以前の別本系の本文に拠る

ものであるという見解が示された。このように、「白描本」は平安の古様を伝える作品として美術史上の価値が高い。

「白描本」は全面に刷られた梵字経により図様が極めて不分明になっている作品である。そのため、これまで多くの研究者は、作家に依頼して作製した上げ写し図をもとに「白描本」の図様の確認を行ってきた。その結果、現存している断簡の全体像が把握され、分かれてしまっていた絵（断簡）が一図に繋がるなど、さまざまな発見や研究上の進展があった。しかしながら現在は研究が停滞しており、重要な存在である祖本の解明もあまり進んでいない。今、改めて「白描本」の原本そのものを丁寧に観察し、その表現的特徴を把握し直す必要があると考える。そのためには、研究者自身の手で上げ写しを行い、図様を読み取っていくことが重要になるだろう。

本研究は平安後期における物語文学の絵画化を、『伊勢物語』と伊勢物語絵に焦点を当て、「白描本」を研究対象作品に据えて考察するものである。転写本という前提のもとで「白描本」を読み解き直し、現存しない祖本を想定復元作品として視覚的に提示することを本研究の目的とする。上げ写しから祖本の制作年代および技法の推定、想定復元までを一貫して自身で行うという点で、新規性がある研究である。

本論の構成は以下の通りである。

第一章では、王朝時代の伊勢物語絵について考察した。王朝絵画の概要と院政期における物語絵の成長過程を、文献資料と現存する周辺作品を見ながら確認し、初期の伊勢物語絵である祖本の制作時期を推定した。

第二章では、『伊勢物語』の概要と、「白描本」の現状および祖本との関係について確認した。「白描本」の上げ写しと熟覧調査を行い、鎌倉時代の特徴と平安時代の特徴を整理した上で、祖本の表現技法を推測した。

第三章では、技法材料について確認した。周辺作品の熟覧調査と料紙加工の実験結果をもとに、祖本の制作手順を検討した。

第四章では、祖本の想定復元模写に取り組んだ。図像の復元と、技法材料の考証を併せて完成画を想定し、彩色本として絵画化した。

終章では、第四章での想定復元制作をもとに、描き手の意図について考察した。本研究で「白描本」から得られた情報を再度整理し、そこから導き出される祖本の姿を述べた。最後に、検証として制作した想定復元作品が、どの程度仮説を立証できていると考えられるのかについて述べ、現段階の課題と今後の展望に触れて結論とした。